

# 当社 水素・アンモニア事業について



2026年3月

三井物産株式会社

エネルギーソリューション本部 水素ソリューション事業部

# 水素事業領域 事業ポートフォリオ

～クリーン水素・アンモニアサプライチェーン構築・産業横断的な取組への展開～



MITSUI & CO.



## Kasso/e-メタノール案件 (デンマーク)

デンマークにおける世界初の商業規模でのe-メタノール製造・販売事業。

## Harvest/低炭素アンモニア 製造事業 (UAE)

### UAE アンモニア製造

アラブ首長国連邦石油会社  
ADNOCグループとのJ/V

生産能力

100万トン/年

商業生産

2027年



## AHEAD/水素サプライチェーン実証事業(日本)

グローバル水素サプライチェーン実証に向けたブルネイでの水素製造プラント並びに日本での脱水素プラント実証。



## Blue Point/低炭素アンモニア 製造事業 (米国)

### 米国 Blue Point

世界最大のアンモニア製造会社  
米国CF Industriesと、JERAとのJ/V

生産能力

140万トン/年

商業生産

2029年

## Yuri/グリーン水素製造 (オーストラリア)

オーストラリアにおけるEngie社との再生可能エネルギー由来の水素製造・供給プロジェクト。水素は世界的な肥料会社であるYara社が保有するアンモニア製造設備に供給される。



## Hiringa/グリーン水素ステーション事業 (ニュージーランド)

ニュージーランドにおける重機向けグリーン水素供給を目指し、Hiringa水素ステーション事業への戦略的投資を実施。



### アンモニア・トレーディング

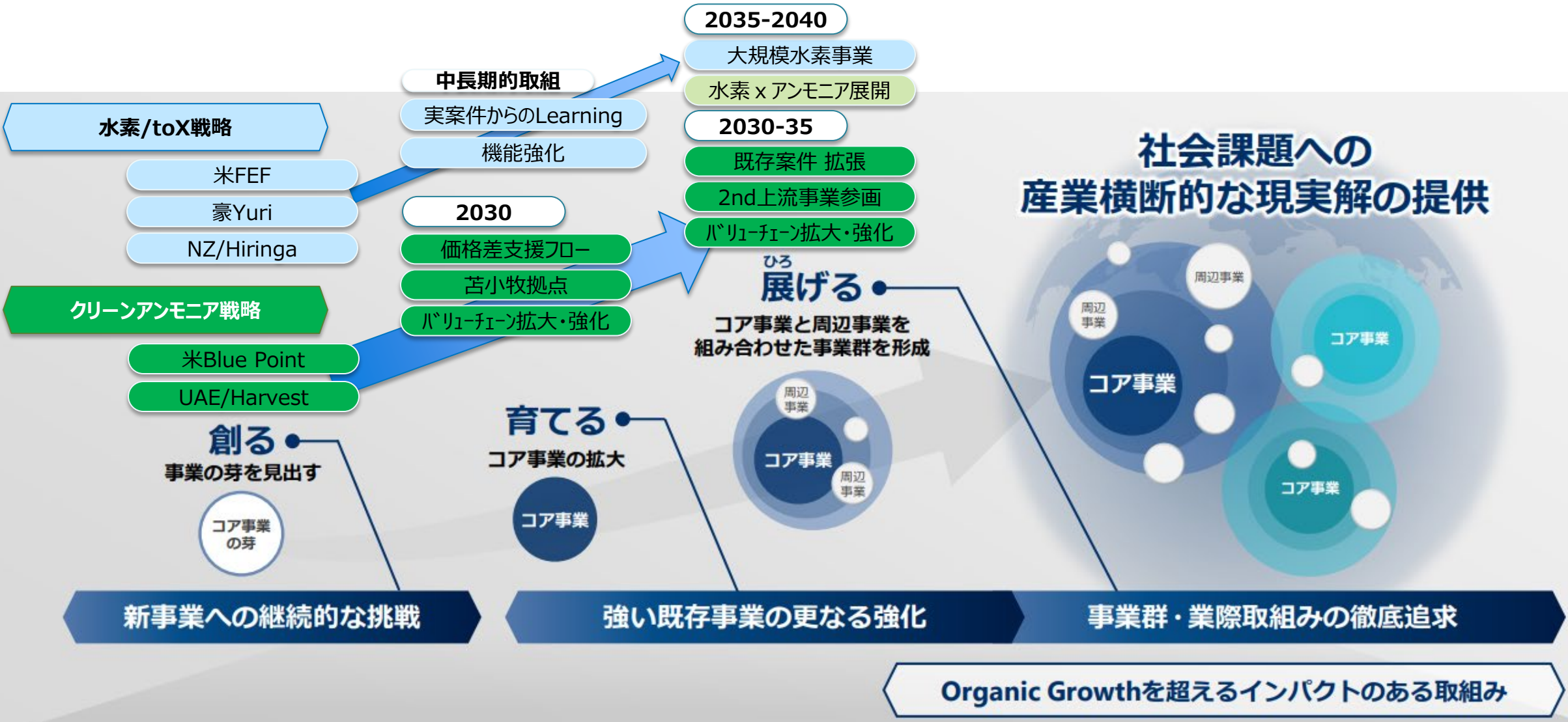
世界トレード規模

85万トン/年

日本向け輸入シェア

60%

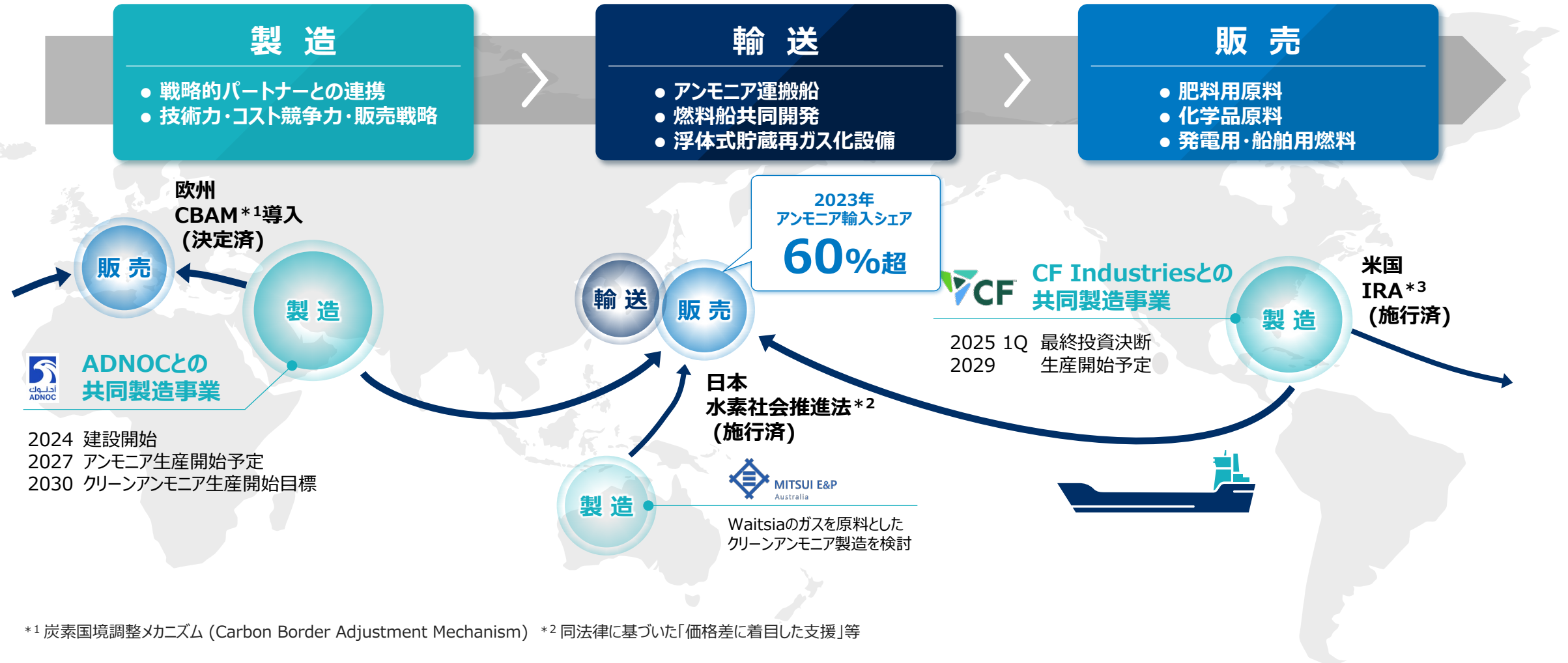
# 当社水素・アンモニア事業領域と取組拡大イメージ



# クリーンアンモニアバリューチェーンの構築

## これまでのアンモニア実績を礎にしたクリーンアンモニア・バリューチェーンの構築

- アブダビADNOC、北米CF Industries 等、戦略的パートナーとの連携を通じた着実なプロジェクト進捗
- エネルギー、化学品、モビリティ本部間の産業横断的な実績・知見の融合



# 水素関連事業における当社取組領域

## 地産地消案件

- FirstElement Fuel社への出資(2020)



- Hiringa Energy社、Hiringa Refuelling NZ社への出資(2021)



- 仏Lhyfeへの出資(2022)



- Norwegian Hydrogenへの出資(2022)



- 西豪州グリーン水素製造事業出資参画(2022)



## 大規模水素バリューチェーン

- AHEAD水素サプライチェーンPJ参画(2017)



- 西豪州グリーン燃料アンモニア生産に向けたJOGMECとのCCS共同調査(2021)

- UAE・日本間のMCH・水素サプライチェーン共同FS契約をADNOC・ENEOSと締結(2022)

- アブダビでのブルーアンモニア事業参画(2022)



- CF Industries・JERAと米国ブルーアンモニア開発事業参画(2025)



## Key Technology Equipment Supply

- Hexagon Compositeへの出資(2016)



- 同社による、Agility Fuel Solutions社の全株式取得(2019)

- CaetanoBusとの水素バス製造・販売(2019)



- Maersk Mc-Kinney Moller Center for Zero Carbon参画(2021)



- エコナ・パワー社への出資(2022)



## 業界団体

- 水素カウンシルへの参画(2017)



- クリーン燃料アンモニア協会への参画(2017)



- 水素バリューチェーン推進協議会(JH2A) 立ち上げ(2020)



- California Hydrogen Business Councilへの参画(2021)



Hydrogen Means Business in California!

- Hydrogen Council NZへの参画(2022)



**360° business innovation.**



MITSUI & CO.